

常磐地区防災計画（素案）

基本計画編

避難所開設編

避難所運営編

令和6年12月改定

常磐小学校区自主防災会

目次

基本計画編

1. 常磐地区防災計画の位置づけ	1
2. 地震対策における避難所開設編を計画の中心とする理由	1
(1) 南海トラフ地震の被害想定（国と県）	1
(2) 香川県の被害想定調査報告書	1
(3) 観音寺市の被害想定	2
(4) 常磐地区の被害想定：観音寺市の被害想定より	2
(5) 常磐地区の被害想定：熊本地震よりイメージ	3
(6) 地震対策における避難所開設編を計画の中心とする理由	3
○風水害等は公助	3
○避難所避難者数が大きい	3
○巨大地震は自助・共助＝公助がない時期への対応意義が 極めて大きい	4
3. 計画の基本的考え方	4
4. 計画対象となる地区と作成主体	5
(1) 計画の対象となる地区	5
(2) 計画の作成主体	6
<表 6>組織図（役員構成図）	6
<表 7>組織図（令和 5 年度実動）	7
<表 8>規約	8

避難所開設編

1. 避難施設の状況	1 6
2. 検証：常磐小学校への避難者数の予測	1 6
3. 問題点	1 7
4. 前提条件	1 8
【A 晴天・昼間バージョン】	1 8
【B 雨天・夜間バージョン】	1 8
5. 開設場所	1 9
6. 開設方法：手順書方式（東京都文京区の方法を模倣）	2 0
(1) 概要	2 0
(2) 手順書の配置	2 0
(3) 手順書の内容	2 0
(4) 訓練	2 1
7. 避難所の解錠と初動期連絡体制	2 1
(1) 避難所の解錠	2 1
(2) 初動期連絡体制	2 1

8.	資機材の調達	22
(1)	断水対応トイレ数の過不足	22
(2)	資機材調達計画	23
①	訓練に必要な印刷物・消耗品	23
②	訓練に必要な用品	23
③	被災時の公的支援がない時期に必要な 印刷物・消耗品のうち水と食料	24
④	被災時の公的支援がない時期に必要な 印刷物・消耗品・貯蔵品	25
⑤	被災時の公的支援がない時期に必要な用具・備品	26
9.	手順書	
	No. 1 はじめに読んでください	29・30
	No. 2 発電機と投光器の設営	31～35
	No. 3 避難者を最初の待機場所に誘導	36・37
	No. 4 安全点検未了建物への立入禁止処置	38・39
	No. 5 施設内の安全点検	40・41
	No. 6 受付場所を設営【事前（保健）・総合受付】	42・43
	No. 7 待機避難者の誘導	44・45
	No. 8 事前（保健）受付	46～49
	No. 9 トイレの準備	50～53
	No. 10 専用スペースの利用準備	54～57
	No. 11 一般避難スペースの準備	58～61
	No. 12 総合受付	62～68
	No. 13 施設内ライフラインの点検	69・70
	No. 14 災害対策本部（市役所）への連絡	71
	No. 15 本部及び班編成	72
10.	掲示物一式	
1	待機場所案内左	73
2	待機場所案内右	74
3	①避難者の待機	75
4	②避難者への協力	76
5	全体レイアウト図	77
6	土足厳禁	78
7	履物脱ぐ	79
8	入所受付は体育館	80
9	福祉避難所対象者は公民館へその1その2	81・82
10	①事前（保健）受付	83
11	保健室	84

1 2	部屋前待機	8 5
1 3	発熱等区分一時待機所	8 6
1 4	専用スペース	8 7
1 5	一般スペース区画図	8 8
1 6	一般スペース区画割当表	8 9
1 7	②番受付	9 0
1 8	③番号交付受付	9 1

1 3. 帳票一式

1	安全確認チェック表【建物の外から】	9 2
2	安全確認チェック表【建物の中から】	9 3
3	健康状態チェックカード	9 4
4	避難所利用者登録票（表）	9 5
5	避難所利用者登録票（裏）	9 6
6	番号カード（見本）	9 7
7	番号カード交付チェック表（一般スペース）	9 8
8	番号カード交付チェック表（医療救護・発熱等）	9 9

避難所運営編（令和4年12月初版分を掲載）

1. 表紙 目次

本部と班編成	1
本部班の業務	2
総務班の業務	4
情報・広報班の業務	1 3
食料・物資班の業務	1 6
保健・衛生班の業務	2 4
施設管理班の業務	3 1
要配慮者支援班の業務	3 7
ボランティア対応班の業務	4 1
2. 避難所運営マニュアル資料編	4 3～5 7
3. 避難所運営マニュアル様式集	5 8～8 7